

## 新任診療部長 紹介

小児科

宮田 市郎 (みやた いちろう)



専門分野

小児内分泌疾患、小児科一般

患者さんへのメッセージ

小児科が展開する医療は多職種スタッフによる包括的な医療であり、小児外科系医師・看護師・臨床心理士・保育士・ケースワーカーなどとの協力体制のもと患者さん志向および科学的志向に基づいた医療を目指しております。また、当科には様々な専門分野のスタッフが揃っており、あらゆる小児疾患に対応できることも大きな特徴です。

## 新任所長 紹介

晴海トリトンクリニック

横山 啓太郎 (よこやま けいたろう)



専門分野

腎臓・高血圧内科、行動変容医療

患者さんへのメッセージ

当クリニックは大学病院へのコンサルジュのような役割を持っています。「クリニックと大学病院とどちらに通院すれば良いのだろう」と言った疑問にお答えします。また、薬だけに頼らない行動変容外来を開設しています。婦人科が常設。特設診療科として禁煙外来、メンタルケア科、皮膚科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科および内視鏡科があり、皆さんご期待に応えたいと思っています。

## 新任診療部長 紹介

遺伝診療部

川目 裕 (かわめ ひろし)



専門分野

臨床遺伝医療、小児先天異常症の遺伝医療、遺伝カウンセリング

患者さんへのメッセージ

遺伝診療部では、各領域の医師と専門スタッフと共に、皆様の状況に応じ、適切な遺伝子診断、理解しやすい情報提供と遺伝カウンセリングを行っています。また、遺伝性疾患・先天性疾患を持つ方々の健康管理とコーディネートを行っています。ゲノム情報を納得して医療に利用していただくためのお手伝いをいたします。

## 豆知識 ケールのお話

「ケールって何？」と思われる方も多いと思いますが、ケールは、「青汁」の原材料になります。青汁は健康ドリンクの代表格ではありますが、生のケールも負けていません。生野菜の中でも栄養価はトップクラスです。

今回は、そんな「ケール」のお得な情報を紹介させていただきます。

ケールは野菜の女王様と呼ばれていますが、なぜか分かりますか？

それは、料理の見栄えが良くなることもあります。女性が喜ぶ栄養素がとにかく豊富なんです。それは、高い抗酸化力をもっているからで、抗酸化ビタミンであるビタミンA、ビタミンC、ビタミンEの全てが含まれています。人は紫外線を浴びると活性酸素が発生し、肌のシミやしわ、たるみの原因の一つになりますが、この活性酸素の発生や働きを抑制してくれるのが抗酸化力になります。さらに肌だけではなく、眼への紫外線や昨今社会問題にもなっているスマートフォンの目の疲れを緩和してくれるルテインも含まれています。



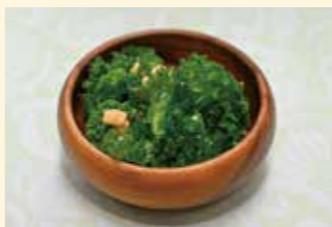
ケールチャンプルー

ケールは食べるUVケアといっても過言ではありません。

ただ、そんなケールも調理方法によっては栄養素を半減してしまいますので注意が必要です。ポイントは①油を使うこと ②茹でないことの2つです。

簡単な料理の紹介としては、スムージーやゴーヤの代わりにケールを使ってケールチャンプルーにしたり、サラダに加えたりとまずは試してみてください。

栄養部 赤石定典



サラダ



スムージー

## 東京慈恵会医科大学附属病院

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18  
TEL 03-3433-1111(代)  
URL <http://www.jikei.ac.jp>



慈恵大学病院だより

# すこやか インフォメーション

No. 59  
2019



西新橋キャンパス全景(愛宕下通り側)

## 特集記事

### 遺伝カウンセリングって何?

特別記事 新任診療部長紹介

豆知識 ケールのお話

お知らせ 西新橋キャンパス再整備計画について ⑧

## 新任診療部長 紹介

糖尿病・代謝・内分泌内科

西村 理明 (にしむら りめい)



専門分野

糖尿病全般・特に、インスリンポンプや持続血糖モニターを使用した先端医療

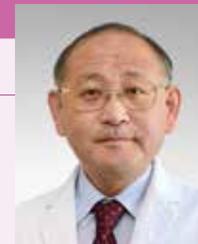
患者さんへのメッセージ

糖尿病・代謝・内分泌内科では、糖尿病、脂質異常症などの代謝疾患、そして甲状腺、下垂体・副腎系を中心とした内分泌疾患の診療を行っています。最近、急速に進歩した薬物療法についての確かな見識を背景に、個々の患者さんが持つ社会的・心理的背景も勘案して、受診された患者さんに最適な医療を提供してまいります。

## 新任診療部長代行 紹介

総合診療部

小此木 英男 (おこのぎ ひでお)



専門分野

内科学一般、腎臓病学

患者さんへのメッセージ

総合診療部では、紹介状をお持ちでない患者さんで受診科がわかりにくい症状や病態の方、複数の疾患をお持ちと予想される方など、初診の段階でどの専門診療科を受診すればよいのかが不明確な方の外来診療を行っています。総合診療部で問題点を整理して、必要に応じて患者さんの病状に適した専門診療科をご案内いたします。



表紙の  
説明

西新橋キャンパス全景(愛宕下通り側)

外観デザインは、中央棟との「一体性」および、N棟・2号館との「連続性」を重視した横基調となっています。

遺伝診療部

# 遺伝カウンセリングって何？

みなさん、「遺伝カウンセリング」という言葉を聞いたことはありますか？近年、「遺伝カウンセリング」は、注目されており、新聞などで目にするようになってきました。しかしながら、未だ馴染みの少ない用語だと思います。そこで私たち遺伝診療部で提供している「遺伝カウンセリング」について、どのようなものなのかを少し詳しく説明します。

## 遺伝カウンセリングとは

「遺伝カウンセリング」（英語では、Genetic counselingといいます）は、1947年、アメリカのミネソタ大学のダイト人類遺伝研究所の人類遺伝学者のシェルドン・C・リード氏が提唱しました。現在は、この遺伝カウンセリングはどのようなものであるかについて、その定義が決まっています、表に示します。

この定義には、解釈、情報提供、カウンセリングという3つのキーワードが盛り込まれています。「解釈」では、専門的な知識のもと、問診などによって、ご本人やご家族の遺伝学的状況や課題を把握します。「情報提供」では、目的と要望に応じて、疾患や検査に関する正確かつ最新の情報を出来るだけわかりやすく、時には書面も用いて説明を行います。もうひとつの要素が「カウンセリング」です。じっくりと時間をかけてお話を聴かせていただき、その人らしい検査や検査後の治療の選択、また疾患と共に生きてゆくことについてお手伝いをします。

## 表 ● 遺伝カウンセリングとは

遺伝カウンセリングは、疾患の遺伝的要因がもたらす医学的、心理的、家族的影響に対して、人々がそれを理解し適応するのを助けるプロセスである。このプロセスは、以下の項目を統合したものである

- ・ 疾患の発症、再発の可能性を評価するための家族歴と病歴の解釈
- ・ 遺伝形式、検査、治療・健康管理、予防、資源、研究についての情報提供
- ・ 自律的な意思決定、遺伝の可能性や疾患への適応を促進するためのカウンセリング



すなわち、遺伝カウンセリングとは、患者さんの遺伝性疾患や先天性疾患に関連しての状況を確実に把握して、専門的な診断、説明とカウンセリングによって、その後のことを一緒に考えてゆく医療行為といえます。

## どんな時に遺伝カウンセリングを利用できますか？

「家族に乳がんの親戚が多いので自分も発症しないか、遺伝性のがんかどうか心配である」、「最近、家族に遺伝性の疾患があるとわかった、その疾患について詳しく今後のことが知りたい」、「高年での妊娠であるのでお腹のなかの赤ちゃんが何か疾患をもっていないか不安である」、「子どもが染色体疾患であると診断を受けた、今後の見通しや気をつけることが知りたい」、「がんの治療薬の選択のために遺伝子検査を受けたところ遺伝性のがんの可能性を指摘された、さらなる検査を受けたい」、など、あらゆる疾患について、また年齢も問わず、ご本人のこと、家族のことでも利用できます。近年、私たちの遺伝情報（ゲノム）に応じた疾患の治療や医薬品の選択、さらに疾患の予防や健康管理が多くの診療科で行われ始めています。遺伝子、遺伝などについて不安や心配、疑問があれば、どうぞ遺伝診療部を受診いただき遺伝カウンセリングを利用してください。

遺伝診療部 川目 裕

# 西新橋キャンパス再整備計画について⑧

2020年1月に開院するN棟【母子医療センター/新橋健診センター】と新外来棟のフロア構成をご紹介します。

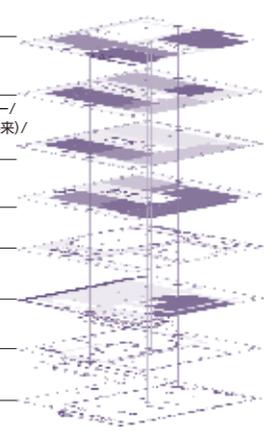
N棟は、1階に小児系外来と産科外来を配置します。各科専用の入口からお入りいただき、中待合は感染症の疑いのある患者さんと動線が交わらないように配慮しています。2階は先行して開院した新橋健診センターと検査部門（画像診断・生理機能）です。3階は28床の産科病棟、6床のMFICU（母体胎児集中治療室）、分娩室と陣痛室が配置され、連絡通路を経由して中央棟手術部と最短ルートで結ばれます。4階は小児病棟20床、NICU（新生児集中治療室）12床、GCU（新生児治療回復室）24床、PICU（小児集中治療室）8床から構成されています。5階は45床の小児病棟、プレイルームやリハビリ室、院内学級室等が配置されています。

新外来棟は、地下2階に86台収容の自走式駐車場を設置します。地下1階は放射線治療部・核医学検査室、1階は総合受付、患者支援・医療連携センター等のサポート部門、カフェ等のアメニティ施設、外来診療ブロック1つを配置し、2階は検査部門となります。3階～5階は関連性のある診療科がブロックごとに配置される外来診療エリアです。6階は、リハビリテーション科、遺伝診療部、特別診察室等が配置されます。

新外来棟の工事は、10月末の竣工に向けて内装・設備工事が進捗しています。新外来棟開院後もE棟と中央棟の改修工事が続き、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

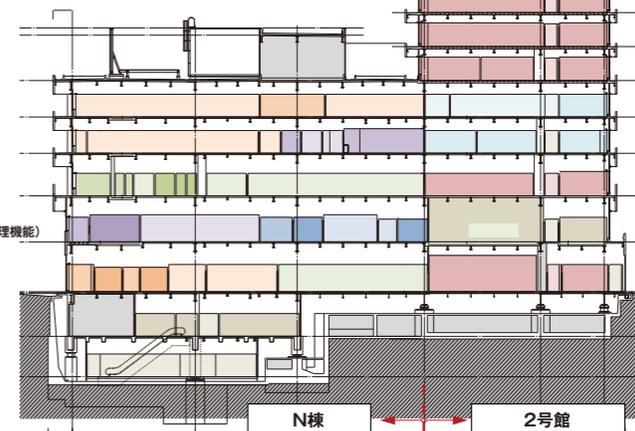
## 新外来棟のフロア構成

- 6F リハビリテーション科/遺伝診療部/特別診察室/管理部門/職員食堂/CPC
- 5F 糖内・腎内・リ内/麻酔科・ペインクリニック/腫瘍センター(腫内・緩和ケア・乳外)/呼内・呼外/精神神経科/眼科
- 4F 脳神経センター(脳外・脳血・神内)/脊髄・脊髄センター/整形外科/消化器センター(消内・消外・肝外・スタマ外来)/泌尿器科、生殖・内分泌外来、ウイメンズクリニック
- 3F 皮膚科・形成外科・スキンケア外来/耳鼻咽喉科/循環器センター(循内・心外・血外)/歯科
- 2F 検査部門(中央検査部・画像診断部門)
- 1F 総合受付/患者支援・医療連携センター/次世代診療ユニット/総合診療部・感染症科
- B1F 放射線治療部/核医学検査室/薬剤部
- B2F 地下駐車場



▲新外来棟フロア構成 (部門名は今後変更となる場合があります)

- 6階：管理区域
- 5階：小児病棟
- 4階：小児病棟/NICU,GCU,PICU
- 3階：産科病棟/MFICU
- 2階：健診センター/検査部門 (画像診断、生理機能)
- 1階：小児外来/産科外来
- 地下1階：霊安室/備蓄倉庫/受水槽
- 地下2階：連絡通路



◀ N棟フロア構成